

防災用品収納庫の設置について

"災害は忘れた頃にやって来る"と言われ、夜間、停電、気象悪条件などの下での対応を強いられるが、「上桜田防災会」(会長は町内会長が兼務)には、現在、次ページ記載の用品を配備しています。しかし、収納庫が無いために、公民館内の1階南側廊下に一時的に保管しています。今後、必要な用品・器材を順次整備する事になります。

ついては、それら防災用品の安全かつ適切な保管が必要であると考え、役員会で検討し、設置工事を速や かに実施する運びとなった事から概要をお知らせします。

1. 設置に係る前提3要件

夜間、停電、気象悪条件などの悪環境化に於いても、迅速な利活用という点から次の3要件を念頭に望ましい設置場所を検討した。

- ①用品の一か所集中保管とする。(分散配置は、緊急時対応としては好ましくない。)
- ②非常用食料の備蓄も検討している中で、凍結や高温多湿の庫内環境は避けなければならない。
- ③冬期間の降雪に左右されること無く、常時持ち出しが可能な状態として置く必要がある。

2. 具体的な設置場所と長短

上桜田公民館内部に設置、屋外に設置する場合の4通りについて、その長短を比較検討した内容は下表のとおりであります。

	A案;本館内部	B案;屋外	
具体的な	玄関入口左側(南側ゲタ箱の所)	B-1;公民館外付け西側資材倉庫の改修	
場所		B-2;本館入口の外北側に小型ガレージ(物	
		置)の設置	
		B-3;上桜田公園あるいは芸工大前公園内への	
		小型ガレージ(物置)の設置	
長所	✓上記1の3要件を満足する。	A案より安価になる可能性がある。	
	✓防災対応拠点となる公民館と一体化		
	する事から利活用の迅速性が確保され		
	る。		
	✓土砂災害指定区域から外れており、		
	地区避難所指定施設になっている。		
短所	玄関入口のスペースが若干狭くなる。	B-1⇒敷地の北側を通過・往来する事となり、	
		特に冬期間の夜間は安全性確保に問題がある。	
		B−2・3⇒冬期間の凍結、結露や夏場の高温多	
		湿等庫内環境が劣悪化する。冬期間は常時(24	
		時間・365 日)の除雪を行っていなければならな	
		₹ ³ °	

3. 決定内容

6月14日(日) および10月11日(日)の執行役員会議(6役+2監事)・上桜田防災会議を開催し、一致を見た決定事項は次のとおりであります。

(1) 設置場所

前記2の内容を踏まえて、同館内部、玄関左側(南側)の現在の下駄箱の所に設置する。

(2) 大きさ

現在の用品ボリュームおよび将来の増加を考慮し、次の大きさ(慨寸)とする。 幅 $2.7\,\mathrm{m} \times$ 高さ $2.6\,\mathrm{m} \times$ 奥行 $0.6\,\mathrm{m}$

(現在の下駄箱 幅 1.8m×高さ 1.6m×奥行 0.3m)

(3) 予算等

当町内の(株)田中工務店に工事を依頼し、妥当な価格を交渉中である。 引当予算項目は、「上桜田防災会(特別会計)」等を引き当てる。

(4) 実施時期

10月末に着手した。

(5) その他

- ・取り外した下駄箱は、利活用を検討中である。
- ・当該下駄箱の上部に掲示していた絵画(新林由啓さん寄贈)は、男子トイレ入口左側の壁面に移動・掲示する。

4. 現有防災用品

下表のとおりあり、現時点では格別の使用訓練は必要ないものと判断しています。

用品名	仕様・規格	配備数
テント一張一式	仕上がり縦 3.58m×横 5.35m×高 2.84m	1
自然通年型開放 暖房出力 2.5 kW		2
式石油ストーブ		
レフレクター	(赤色の手持ち案内誘導灯) 単一電池2個使用 (*1)	2
小型ランタン	LED、単一電池4個使用 (**2)	1 0
ハンドメガホン	(赤色)	2
保護帽	(白色のヘルメット)飛来落下防止用・電気用7,000V以下	1 0
スタッフ用	(緑色)ビニール網目作り	1 0
ジャケット		
トランシーバー	(特殊小電力トランシーバー)ケンウッド	4
乾電池	単一 $ *^{1} (2 \times 2) + *^{2} (4 \times 10) = 44 $	4 4
	単二	4
	単三	2 0

<町内会総務担当 大沼香>

